

☆ 答えは全て解答欄に記入しなさい。また、漢字で書くべき答えは、漢字で答えなさい。

ウェゲナーは、1912（または1915）年（1）説を発表し、古生代には（2）と呼ぶ一つの大陸であったと主張したが、（1）の原因は説明できなかった。現在では、地球は十数枚のプレートからなり、マントル上部の対流によって移動するという（3）という理論が支持されている。これによると地球の表面は十数枚のプレートからなり、プレート同士の境界は、3つのタイプ 1があるとされる。

狭まる境界のうち、大陸プレートと大陸プレートの接するところでは、大山脈が形成される。インドオーストラリアプレートと（4）プレートがぶつかるヒマラヤ山脈はその代表である。狭まる境界うち、海洋プレートと大陸プレートがぶつかるところでは、水深6000（7000）m以上の（5）と弧状列島・火山が形成される。

広がる境界の多くは海洋底にあり、そこには（6）という海底の山脈が存在している。

ずれる境界の代表はカリフォルニア州の（7）断層で、たびたび大地震を起こしてきた。火山 2はこの3つのいずれかに存在するが、ハワイは（8）型の火山として区別される。

主に古生代に作られた山脈を古期造山帯 3、中生代～新生代のものを（9）造山帯の山脈という。古期造山帯は、良質の（10）がとれる。

古生代以降、緩やかな変動だけで、激しい地殻変動を受けなかった所を安定陸塊という。そのうち、先カンブリア時代の地層がほぼそのまま露出しているところを（11）といい、侵食で準平原となっている。侵食に耐えた岩塊は（12）で、オーストラリアのウルル（エアーズロック）が有名である。安定陸塊、特に（11）は、良質の（13）を産出する。一方、古生代・中生代以降の地層が堆積しているところを卓状地という。卓状地の表面は、一般的に侵食によって平坦になっているが、地質構造も平坦であるため（14）平野と呼ばれる。パリ盆地など（14）平野が曲降し、差別侵食を受け、内側に緩斜面、外側に急崖をもつ地形は（15）で、パリや五大湖周辺が有名である。（14）平野に見られるテーブル状の地形は（16）と呼ぶ。

問1 下線部1 右の地図で、ACはどのような境界か、下から選び記号で答えなさい。

ア 広がる境界 イ 狭まる境界 ウ ずれる境界

問2 下線部2 火山が多いのはどこか、下から選び記号で答えなさい。

ア 広がる境界 イ ずれる境界 ウ 大陸プレートどうしの狭まる境界  
エ 大陸プレートと海洋プレートの狭まる境界

問3 下線部3 次の文の空欄に入るものを下のア～から選び、記号で答えなさい。

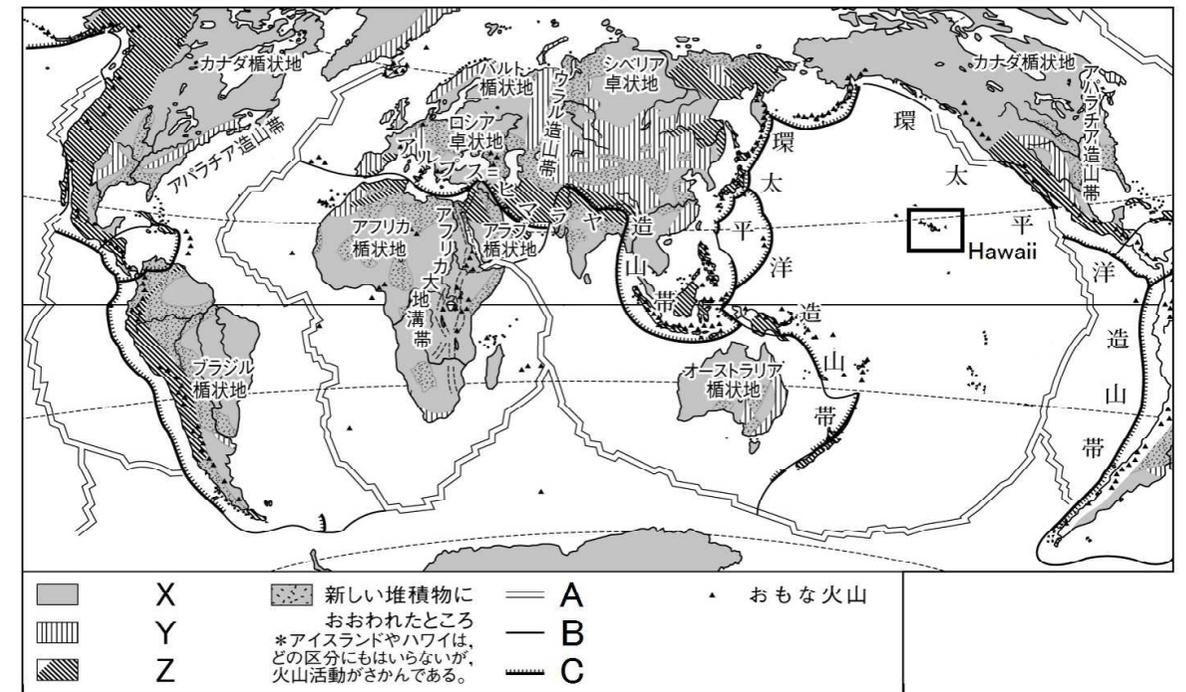
古期造山帯の山脈は長い間の（a）によって、（b）なものとなっている。

ア a 侵食 b なだらか イ a 侵食 b 急峻  
ウ a 堆積 b なだらか エ a 堆積 b 急峻

問4 右の地図で、Yはどのようなところか、下から選び記号で答えなさい。

ア 古期造山帯 イ 安定陸塊 ウ ビュート エ トロイデ

世界の大地形



1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 .....  
 5 ..... 6 ..... 7 ..... 8 .....  
 9 ..... 10 ..... 11 ..... 12 .....  
 13 ..... 14 ..... 15 ..... 16 .....

問1 A ..... C ..... 問2 ..... 問3 ..... 問4 .....

年 組 番 名前

解答用紙

[ 5 ]

1 大陸移動 ..... 2 パンゲア ..... 3 プレートテクトニクス ..... 4 ユーラシア .....

5 海溝 ..... 6 海嶺 ..... 7 サンアンドレアス ..... 8 ホットスポット .....

9 新期 ..... 10 石炭 ..... 11 楯状地 ..... 12 残丘 .....

13 鉄鉱石 ..... 14 構造 ..... 15 ケスタ ..... 16 メサ .....

問1 A ア C イ 問2 エ 問3 ア 問4 ア .....